

本報告書の全部又は一部の無断転載転用を固くお断りします。

KAKEN

No. OS-19-041587-8R(1)

試験報告書

依頼者名：Salute. Lab 株式会社 殿  
試験項目：抗ウイルス性

2019年9月27日付で当所に提出された試料の試験結果は、下記の通りです。

2019年10月24日

**カケン**  
〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目5番19号  
一般財団法人 **カケンテストセンター**  
大阪事業所 生物ラボ  
Tel(06)-6441-0399 Fax(06)-6441-6803

記

試験結果:

1. 試料の種類・名称等

試料No.	試料の種類・名称等
①	イオニアミスト

2. 対照試験および抗ウイルス性試験

2.1 A型インフルエンザウイルス

試料No.	前処理等	対照試験				抗ウイルス性試験	
		洗い出し液の細胞毒性の有無	洗い出し液へのウイルスの添加回収試験 回収量(PFU/mL)の常用対数	標準布との差	判定 <sup>注1</sup>	log(Vc) <sup>注2</sup>	抗ウイルス活性値:Mr(参考情報) <sup>注3</sup>
①	原品	無	1.85	0.7	不成立	<2.30	>4.6
	標準布(綿100%、白布)	無	2.58				
			接種直後のウイルス力価(PFU/試験片)の常用対数:log(Va)			6.92	
			1時間静置後のウイルス力価(PFU/試験片)の常用対数:log(Vb)			6.50	
			減少値:M(試験成立条件:減少値≤1.0)			0.4(成立)	
			接種ウイルス液のウイルス力価(PFU/mL)			4.8E+07	

本報告書に記載の試験結果は提示試料に対するものであり、荷口(ロット)全体の品質を報告するものではありません。事業所朱印のない報告書については、当財団は一切責任を負いかねますので、念のため申し添えます。

確認	作成

# A型インフルエンザウイルスの抗ウイルス性試験 (カケンテストセンターにて実施)

試験方法：JIS L 1922:2016(ISO 18184:2014、準用)、準用  
通常は接触時間が2時間の試験を、**1時間に短縮して実施**

ウイルス力価の定量方法：プラーク法

試験で使用したウイルスの種類[宿主細胞]：A型インフルエンザウイルス (H3N2) ATCC VR-1679 [MDCK細胞 ATCC CCL-34]

**1時間試験でもウイルスの不活化は下記のように確認されたが、酸化作用が高いため、同時に宿主細胞まで分解してしまい、試験としては不成立という結果になりました。**

	(常用対数表示)		(理論上のウイルス数【=10 <sup>log(V)</sup> 】)		理論上のウイルス減少率
	接種直後	1時間静置後	接種直後	1時間静置後	
イオニアミスト 検証試験					
<b>A型インフルエンザウイルス力価</b>	log(Va)=6.92	log(Vb)=2.30	8,317,638	200	<b>99.997%</b>